

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2021年6月11日〔当初、2016年6月13日〕まで (2011年9月26日設定)	
運用方針	ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、新興国の通貨建て公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、実質組入比率の調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。	
主要運用対象	ベビーファンド	ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定し、原則として配当等収益等を中心に安定した分配をめざします。ただし、毎年6月・12月の計算期末には、安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。なお、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

信託期間を従来の2016年6月13日から2021年6月11日へ延長しました。

運用報告書(全体版)

ネクスト・グロース・ボンド・オープン (毎月決算型)

愛称：夢こよみ



第45期（決算日：2015年7月13日）

第46期（決算日：2015年8月13日）

第47期（決算日：2015年9月14日）

第48期（決算日：2015年10月13日）

第49期（決算日：2015年11月13日）

第50期（決算日：2015年12月14日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）（愛称：夢こよみ）」は、去る12月14日に第50期の決算を行いましたので、法令に基づいて第45期～第50期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL:<http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆ 目 次

◀ ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）のご報告 ▶

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	9
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	9
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	10
◇損益の状況	11
◇分配金のお知らせ	12
◇お知らせ	12

◀ マザーファンドのご報告 ▶

◇ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド	14
------------------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率			
	円		円		%	%	百万円
21期(2013年7月16日)	13,154		100		1.1	93.7	1,314
22期(2013年8月13日)	12,837		100	△	1.6	97.9	2,507
23期(2013年9月13日)	12,313		100	△	3.3	96.8	2,865
24期(2013年10月15日)	12,610		100		3.2	94.5	2,971
25期(2013年11月13日)	12,131		100	△	3.0	96.4	2,944
26期(2013年12月13日)	12,635		100		5.0	93.9	3,136
27期(2014年1月14日)	12,050		100	△	3.8	96.1	3,026
28期(2014年2月13日)	11,682		100	△	2.2	97.0	2,641
29期(2014年3月13日)	11,527		100	△	0.5	95.8	2,516
30期(2014年4月14日)	11,988		100		4.9	96.0	2,501
31期(2014年5月13日)	12,386		100		4.2	95.6	2,362
32期(2014年6月13日)	12,454		100		1.4	94.2	2,033
33期(2014年7月14日)	12,318		100	△	0.3	96.6	1,994
34期(2014年8月13日)	12,061		100	△	1.3	95.9	1,918
35期(2014年9月16日)	12,381		100		3.5	96.3	1,898
36期(2014年10月14日)	12,111		100	△	1.4	96.4	1,822
37期(2014年11月13日)	13,126		100		9.2	95.6	1,740
38期(2014年12月15日)	12,734		100	△	2.2	90.7	1,505
39期(2015年1月13日)	13,188		100		4.4	95.6	1,500
40期(2015年2月13日)	12,538		100	△	4.2	96.3	1,370
41期(2015年3月13日)	11,966		100	△	3.8	95.5	1,250
42期(2015年4月13日)	11,851		100	△	0.1	96.3	1,097
43期(2015年5月13日)	11,396		100	△	3.0	91.6	1,038
44期(2015年6月15日)	11,467		100		1.5	94.2	1,278
45期(2015年7月13日)	11,355		100	△	0.1	95.9	1,254
46期(2015年8月13日)	11,039		100	△	1.9	96.8	1,166
47期(2015年9月14日)	9,810		100	△	10.2	95.7	983
48期(2015年10月13日)	10,056		100		3.5	95.9	965
49期(2015年11月13日)	10,327		100		3.7	93.7	952
50期(2015年12月14日)	9,587		100	△	6.2	94.7	849

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、新興国の通貨建て公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	率			
第45期	(期 首)	円		%	%	%	%
	2015年6月15日	11,467	—	—	94.2	—	—
	6月末	11,351	△ 1.0	—	96.4	—	—
第46期	(期 末)						
	2015年7月13日	11,455	△ 0.1	—	95.9	—	—
	(期 首)						
第47期	2015年7月13日	11,355	—	—	95.9	—	—
	7月末	11,066	△ 2.5	—	96.8	—	—
	(期 末)						
第48期	2015年8月13日	11,139	△ 1.9	—	96.8	—	—
	(期 首)						
	2015年8月13日	11,039	—	—	96.8	—	—
第49期	8月末	10,229	△ 7.3	—	95.5	—	—
	(期 末)						
	2015年9月14日	9,910	△10.2	—	95.7	—	—
第50期	(期 首)						
	2015年9月14日	9,810	—	—	95.7	—	—
	9月末	9,650	△ 1.6	—	96.5	—	—
第51期	(期 末)						
	2015年10月13日	10,156	3.5	—	95.9	—	—
	(期 首)						
第52期	2015年10月13日	10,056	—	—	95.9	—	—
	10月末	10,213	1.6	—	96.2	—	—
	(期 末)						
第53期	2015年11月13日	10,427	3.7	—	93.7	—	—
	(期 首)						
	2015年11月13日	10,327	—	—	93.7	—	—
第54期	11月末	10,238	△ 0.9	—	95.9	—	—
	(期 末)						
	2015年12月14日	9,687	△ 6.2	—	94.7	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

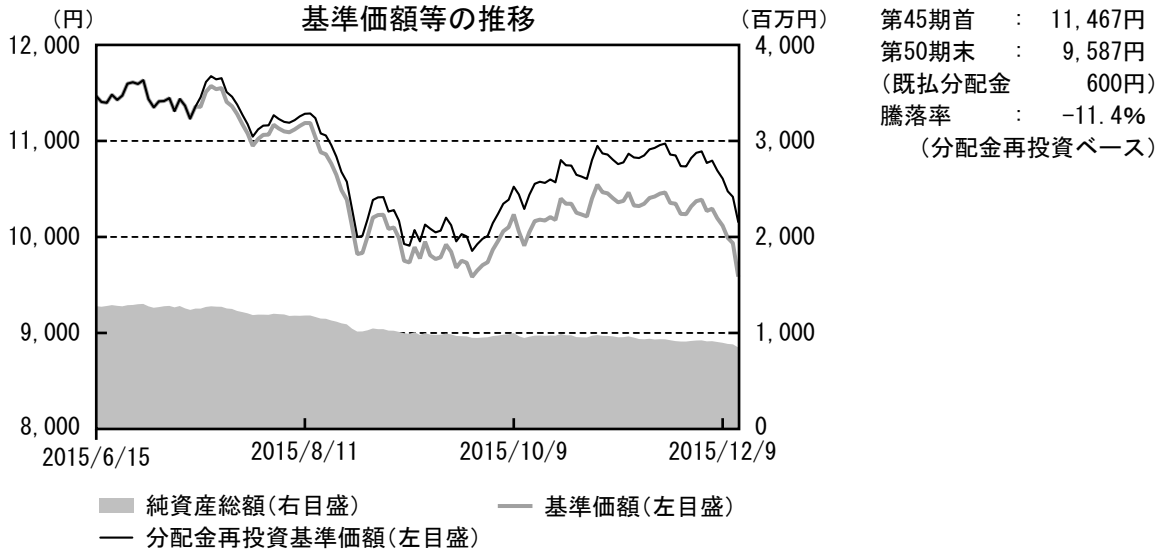
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

（第45期～第50期：2015/6/16～2015/12/14）

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ11.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。
---------	---



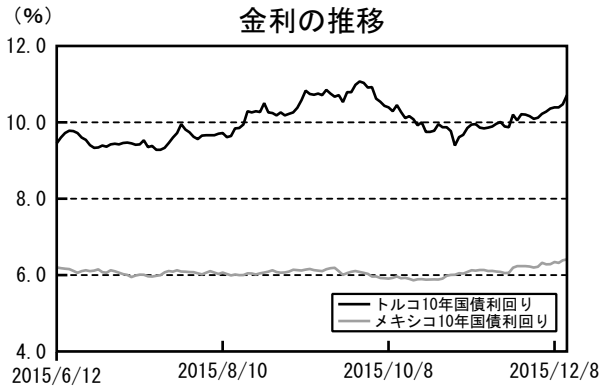
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の変動要因

上昇要因	債券の利子収益を享受したことは、上昇要因となりました。
下落要因	メキシコペソやトルコリラが対円で下落したことは、下落要因となりました。

投資環境について

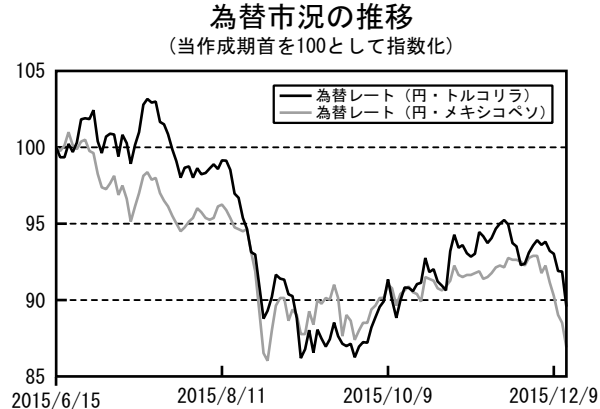
（第45期～第50期：2015/6/16～2015/12/14）



（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- トルコおよびメキシコの債券利回りは上昇（債券価格は下落）しました。中国経済の減速懸念の高まりを受けて中国株式市場をはじめ世界的に株式市場が軟調に推移するなか、投資家のリスク回避姿勢が高まったことや、作成期末にかけては米国の年内利上げ観測の強まりを背景に米国金利が上昇した影響を受けたことなどから、トルコやメキシコなどの債券は売られ金利が上昇しました。トルコにおいては、国内における自爆テロの発生や同国軍がロシア軍戦闘機を撃墜した事件の発生を受けて、地政学的リスクの高まりが意識されたことも金利上昇要因となりました。



◎為替市況

- トルコリラおよびメキシコペソは対円で下落しました。前述の投資家のリスク回避姿勢の高まりなどを背景に、円がトルコリラやメキシコペソに対して買われる展開となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）>

- ・当ファンドは、ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券（以下、マザーファンド）への投資を通じて、新興国の通貨建て公社債に投資しています。

<ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ10.8%の下落となりました。

- ・信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を2カ国選定し、通貨別資産配分は5：5としました。
- ・当作成期を通じてトルコリラ建て、メキシコペソ建ての国債に投資しました。
- ・債券の利子収益を享受したことはプラス要因となったものの、メキシコペソやトルコリラが対円で下落したことなどにより、基準価額は下落しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2015年6月15日）

最終利回り	7.4%
直接利回り	7.8%
デュレーション	4.8年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮していません）。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

作成期末（2015年12月14日）

最終利回り	8.0%
直接利回り	8.2%
デュレーション	4.7年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮していません）。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、新興国の通貨建て公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期
	2015年6月16日～ 2015年7月13日	2015年7月14日～ 2015年8月13日	2015年8月14日～ 2015年9月14日	2015年9月15日～ 2015年10月13日	2015年10月14日～ 2015年11月13日	2015年11月14日～ 2015年12月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	100 0.873%	100 0.898%	100 1.009%	100 0.985%	100 0.959%	100 1.032%
当期の収益	58	62	59	63	69	56
当期の収益以外	41	37	40	36	30	43
翌期繰越分配対象額	5,757	5,720	5,680	5,643	5,612	5,569

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

<ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・新興国の経済成長ペースは鈍化してきているものの、堅調な内需を背景に概ね底堅い景気拡大を維持するものとみています。このような環境認識のもと、トルコ、メキシコの景気も、概ね底堅く推移するものとみています。
- ・先進国中央銀行による金融緩和政策の継続などを背景に世界的に金利が低水準で推移する中、主要先進国との金利差を狙った資金流入が今後も見込めることなどから、かかる通貨は相対的に選好されるものと考えています。
- ・ただし、他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念や米国の利上げ開始に伴う資金フローの動向などの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の高まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
- ・投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を原則2ヵ国選定します。通貨別資産配分は5：5を基本投資比率とします。
- ・市場急変などの際に先進国の流動性の高い公社債等への投資比率を高める場合があります。
- ・今後も、市場動向を注視しつつ、慎重に投資を行っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2015年6月16日～2015年12月14日）

項 目	第45期～第50期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	76	0.725	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(34)	(0.322)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(39)	(0.376)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	7	0.063	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.059)	外国での資産の保管等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	83	0.788	
作成期中の平均基準価額は、10,457円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

（2015年6月16日～2015年12月14日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第45期～第50期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド	千口 29,716	千円 42,896	千口 247,041	千円 348,165

○利害関係人との取引状況等

(2015年6月16日～2015年12月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年12月14日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第44期末	第50期末	
	口 数	口 数	評 価 額
ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド	千口 853,256	千口 635,931	千円 847,824

○投資信託財産の構成

(2015年12月14日現在)

項 目	第50期末	
	評 価 額	比 率
ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド	千円 847,824	% 98.5
コール・ローン等、その他	13,194	1.5
投資信託財産総額	861,018	100.0

(注) ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(843,350千円)の投資信託財産総額(857,841千円)に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 メキシコペソ=6.96円	1 トルコリラ=40.69円	
----------------	----------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末
	2015年7月13日現在	2015年8月13日現在	2015年9月14日現在	2015年10月13日現在	2015年11月13日現在	2015年12月14日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,267,907,347	1,178,491,469	1,010,735,725	993,192,898	962,515,532	861,018,561
コール・ローン等	3,994,270	4,095,044	3,404,560	3,223,528	3,344,229	3,175,977
ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド(評価額)	1,251,083,189	1,163,582,242	981,173,747	963,512,010	949,805,216	847,824,117
未収入金	12,829,882	10,814,177	26,157,413	26,457,355	9,366,082	10,018,462
未収利息	6	6	5	5	5	5
(B) 負債	13,855,430	12,075,125	27,295,361	27,528,118	10,418,680	11,137,763
未払収益分配金	11,044,376	10,566,681	10,024,603	9,603,200	9,219,272	8,865,096
未払解約金	1,381,194	—	15,921,666	16,793,925	—	1,133,616
未払信託報酬	1,425,436	1,503,777	1,344,921	1,127,493	1,195,698	1,135,529
その他未払費用	4,424	4,667	4,171	3,500	3,710	3,522
(C) 純資産総額(A－B)	1,254,051,917	1,166,416,344	983,440,364	965,664,780	952,096,852	849,880,798
元本	1,104,437,617	1,056,668,196	1,002,460,352	960,320,011	921,927,212	886,509,627
次期繰越損益金	149,614,300	109,748,148	△ 19,019,988	5,344,769	30,169,640	△ 36,628,829
(D) 受益権総口数	1,104,437,617口	1,056,668,196口	1,002,460,352口	960,320,011口	921,927,212口	886,509,627口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,355円	11,039円	9,810円	10,056円	10,327円	9,587円

○損益の状況

項 目	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期
	2015年6月16日～ 2015年7月13日	2015年7月14日～ 2015年8月13日	2015年8月14日～ 2015年9月14日	2015年9月15日～ 2015年10月13日	2015年10月14日～ 2015年11月13日	2015年11月14日～ 2015年12月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	232	192	178	134	132	139
受取利息	232	192	178	134	132	139
(B) 有価証券売買損益	92,636	△ 21,274,917	△ 110,743,812	34,299,343	35,457,035	△ 55,644,251
売買益	386,687	992,359	5,367,221	35,403,088	36,558,361	173,588
売買損	△ 294,051	△ 22,267,276	△ 116,111,033	△ 1,103,745	△ 1,101,326	△ 55,817,839
(C) 信託報酬等	△ 1,429,860	△ 1,508,444	△ 1,349,092	△ 1,130,993	△ 1,199,408	△ 1,139,051
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,336,992	△ 22,783,169	△ 112,092,726	33,168,484	34,257,759	△ 56,783,163
(E) 前期繰越損益金	△ 82,759,172	△ 90,783,301	△ 116,497,717	△ 227,986,977	△ 196,021,691	△ 163,346,796
(F) 追加信託差損益金	244,754,840	233,881,299	219,595,058	209,766,462	201,152,844	192,366,226
(配当等相当額)	(604,686,425)	(578,711,716)	(549,296,642)	(526,290,259)	(505,276,253)	(485,945,388)
(売買損益相当額)	(△359,931,585)	(△344,830,417)	(△329,701,584)	(△316,523,797)	(△304,123,409)	(△293,579,162)
(G) 計(D+E+F)	160,658,676	120,314,829	△ 8,995,385	14,947,969	39,388,912	△ 27,763,733
(H) 収益分配金	△ 11,044,376	△ 10,566,681	△ 10,024,603	△ 9,603,200	△ 9,219,272	△ 8,865,096
次期繰越損益金(G+H)	149,614,300	109,748,148	△ 19,019,988	5,344,769	30,169,640	△ 36,628,829
追加信託差損益金	244,754,840	233,881,299	219,595,058	209,766,462	201,152,844	192,366,226
(配当等相当額)	(604,790,777)	(578,722,235)	(549,332,248)	(526,299,516)	(505,280,590)	(485,968,052)
(売買損益相当額)	(△360,035,937)	(△344,840,936)	(△329,737,190)	(△316,533,054)	(△304,127,746)	(△293,601,826)
分配準備積立金	31,141,396	25,734,525	20,110,328	15,671,680	12,186,543	7,806,852
繰越損益金	△ 126,281,936	△ 149,867,676	△ 258,725,374	△ 220,093,373	△ 183,169,747	△ 236,801,907

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 1,115,312,106円
 作成期中追加設定元本額 51,720,302円
 作成期中一部解約元本額 280,522,781円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9587円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は36,628,829円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2015年6月16日～ 2015年7月13日	2015年7月14日～ 2015年8月13日	2015年8月14日～ 2015年9月14日	2015年9月15日～ 2015年10月13日	2015年10月14日～ 2015年11月13日	2015年11月14日～ 2015年12月14日
費用控除後の配当等収益額	6,454,611円	6,586,019円	5,983,337円	6,060,280円	6,378,109円	5,029,679円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	604,790,777円	578,722,235円	549,332,248円	526,299,516円	505,280,590円	485,968,052円
分配準備積立金額	35,731,161円	29,715,187円	24,151,594円	19,214,600円	15,027,706円	11,642,269円
当ファンドの分配対象収益額	646,976,549円	615,023,441円	579,467,179円	551,574,396円	526,686,405円	502,640,000円
1万円当たり収益分配対象額	5,857円	5,820円	5,780円	5,743円	5,712円	5,669円
1万円当たり分配金額	100円	100円	100円	100円	100円	100円
収益分配金金額	11,044,376円	10,566,681円	10,024,603円	9,603,200円	9,219,272円	8,865,096円

○分配金のお知らせ

	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期
1万円当たり分配金（税込み）	100円	100円	100円	100円	100円	100円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※少額投資非課税制度「愛称：N I S A（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

- ①2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（2015年7月1日）
- ②信託期間を従来の2016年6月13日から2021年6月11日へ延長し、信託約款に所要の変更を行いました。（2015年9月15日）
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年12月14日現在）

<ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド>

下記は、ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド全体(635,931千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第50期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 50,600	千メキシコペソ 56,888	千円 395,943	% 46.7	% —	% 23.5	% 19.4	% 3.8
トルコ	千トルコリラ 10,750	千トルコリラ 10,055	409,173	48.3	—	29.6	15.1	3.5
合 計	—	—	805,117	95.0	—	53.1	34.5	7.4

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			第50期末				償還年月日	
			利 率	額面金額	評 価 額			
					外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円			
メキシコ	国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	3,200	4,020	27,984	2024/12/5	
		10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	4,300	5,716	39,787	2036/11/20	
		7.25 MEXICAN BONO 161215	7.25	4,500	4,661	32,445	2016/12/15	
		7.75 MEXICAN BONO 171214	7.75	9,600	10,272	71,494	2017/12/14	
		7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	4,300	4,681	32,582	2031/5/29	
		7.75 MEXICAN BONO 421113	7.75	3,700	3,984	27,732	2042/11/13	
		8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	1,900	2,092	14,565	2020/6/11	
		8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	2,400	2,670	18,585	2023/12/7	
		8.5 MEXICAN BONOS 181213	8.5	10,200	11,242	78,245	2018/12/13	
		8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	1,500	1,740	12,113	2029/5/31	
8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	5,000	5,805	40,407	2038/11/18			
小 計					395,943			
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ				
トルコ	国債証券	10.5 TURKEY GOVT 200115	10.5	2,400	2,393	97,398	2020/1/15	
		7.1 TURKEY GOVT 230308	7.1	500	412	16,767	2023/3/8	
		8.3 TURKEY GOVT 180620	8.3	800	757	30,816	2018/6/20	
		8.5 TURKEY GOVT 220914	8.5	2,500	2,244	91,314	2022/9/14	
		8.8 TURKEY GOVT 230927	8.8	2,200	1,983	80,721	2023/9/27	
		9 TURKEY GOVT 160127	9.0	200	199	8,110	2016/1/27	
		9 TURKEY GOVT 170308	9.0	550	538	21,911	2017/3/8	
		9.5 TURKEY GOVT 220112	9.5	1,600	1,527	62,133	2022/1/12	
		小 計					409,173	
		合 計					805,117	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド

《第4期》決算日2015年6月15日

〔計算期間：2014年6月14日～2015年6月15日〕

「ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド」は、6月15日に第4期の決算を行いました。以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制等を総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を複数選定します。 各国の通貨別資産配分は、市場流動性や利回り水準等を勘案して決定します。市場急変等の際に先進国の流動性の高い公社債等へ投資を行う場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、組入比率の調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。
主要運用対象	新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
(設定日)	円	%	%	%	百万円
2011年9月26日	10,000	—	—	—	498
1期(2012年6月13日)	11,045	10.5	95.7	—	545
2期(2013年6月13日)	13,733	24.3	93.7	—	594
3期(2014年6月13日)	14,554	6.0	94.4	—	2,028
4期(2015年6月15日)	14,953	2.7	94.4	—	1,275

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰	落			
(期 首) 2014年6月13日	円 14,554		% —			% 94.4
6月末	14,543	△	0.1			96.9
7月末	14,744		1.3			97.1
8月末	14,743		1.3			96.7
9月末	14,625		0.5			96.4
10月末	15,436		6.1			95.1
11月末	16,808		15.5			95.2
12月末	16,217		11.4			94.4
2015年1月末	16,197		11.3			96.4
2月末	15,543		6.8			96.5
3月末	15,120		3.9			94.7
4月末	14,661		0.7			96.1
5月末	15,281		5.0			95.8
(期 末) 2015年6月15日	14,953		2.7			94.4

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

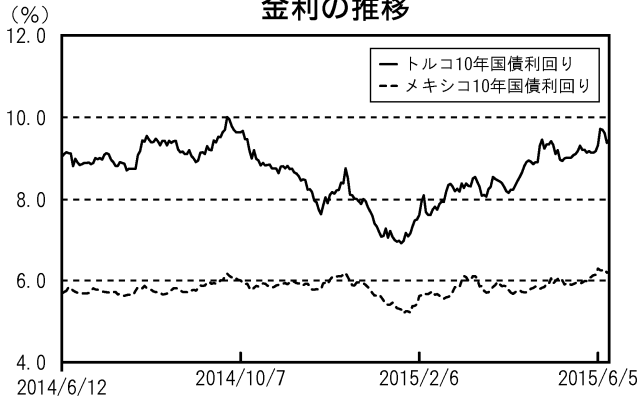
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.7%の上昇となりました。

基準価額の推移



●投資環境について
金利の推移

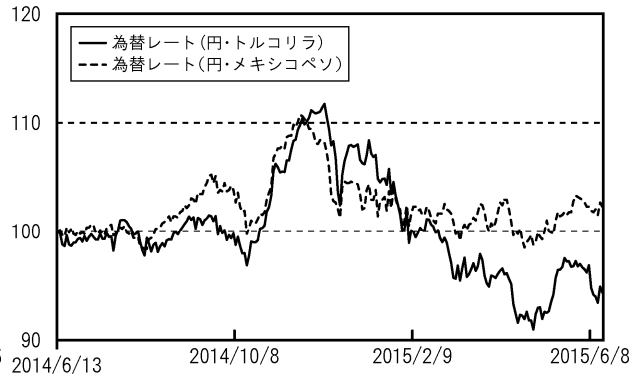


(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- トルコおよびメキシコの債券利回りは上昇（債券価格は下落）しました。資源価格が低迷し世界経済の先行き不透明感が高まるなか、投資家のリスク回避姿勢が強まったことを受けて、トルコやメキシコなどの新興国の金利は上昇圧力を受ける展開となりました。トルコにおいては、2015年6月上旬に開催された総選挙を前に政治不透明感が高まったことも材料視されました。

為替市況の推移
(期首を100として指数化)



◎為替市況

- トルコリラは対円で下落(円高)した一方で、メキシコペソは対円で上昇しました。日銀による「量的・質的金融緩和」の拡大などが円安要因となり、メキシコペソは対円で上昇した一方で、トルコにおいては、前述の政治不透明感の高まりが通貨下落の要因となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- 信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を2カ国選定し、通貨別資産配分は5：5としました。
- 期を通じてトルコリラ建て、メキシコペソ建ての国債に投資しました。
- トルコリラが対円で下落したことはマイナス要因となったものの、債券の利子収益を享受したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・新興国の経済成長ペースは鈍化してきているものの、堅調な内需を背景に概ね底堅い景気拡大を維持するものとみています。このような環境認識のもと、トルコ、メキシコの景気も、概ね底堅く推移するものとみています。
- ・先進各国中央銀行による金融緩和政策の継続などを背景に世界的に金利が低水準で推移する中、主要先進国との金利差を狙った資金流入が今後も見込めることなどから、かかる通貨は相対的に選好されるものと考えています。
- ・ただし、他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念やギリシャ債務問題の動向などの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の高まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
- ・投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を原則2カ国選定します。通貨別資産配分は5：5を基本投資比率とします。
- ・市場急変などの際に先進国の流動性の高い公社債等への投資比率を高める場合があります。
- ・今後も、市場動向を注視しつつ、慎重に投資を行っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年6月14日～2015年6月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(22)	(0.145)	外国での資産の保管等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	22	0.146	
期中の平均基準価額は、15,326円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年6月14日～2015年6月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 36,245	千メキシコペソ 81,142
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 6,007	千トルコリラ 12,173

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○ 利害関係人との取引状況等

(2014年6月14日～2015年6月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 558	百万円 13	% 2.3	百万円 1,398	百万円 37	% 2.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF証券です。

○組入資産の明細

(2015年6月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 65,400	千メキシコペソ 75,187	千円 602,255	% 47.2	% —	% 25.9	% 16.0	% 5.3
トルコ	千トルコリラ 13,400	千トルコリラ 13,256	602,261	47.2	—	27.0	11.7	8.5
合 計	—	—	1,204,516	94.4	—	53.0	27.7	13.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		債 務	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
	国債証券						
	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	10,500	13,357	106,993	2024/12/5	
	10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	4,300	5,863	46,969	2036/11/20	
	7.25 MEXICAN BONO 161215	7.25	8,000	8,380	67,128	2016/12/15	
	7.75 MEXICAN BONO 171214	7.75	9,100	9,798	78,483	2017/12/14	
	7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	6,800	7,538	60,379	2031/5/29	
	7.75 MEXICAN BONO 421113	7.75	3,700	4,111	32,934	2042/11/13	
	8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	1,900	2,112	16,922	2020/6/11	
	8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	2,400	2,691	21,555	2023/12/7	
	8.5 MEXICAN BONOS 181213	8.5	12,200	13,600	108,939	2018/12/13	
	8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	1,500	1,767	14,153	2029/5/31	
	8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	5,000	5,967	47,795	2038/11/18	
小	計				602,255		
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ			
	国債証券						
	10.5 TURKEY GOVT 200115	10.5	2,400	2,504	113,796	2020/1/15	
	7.1 TURKEY GOVT 230308	7.1	500	440	20,021	2023/3/8	
	8.3 TURKEY GOVT 180620	8.3	800	774	35,202	2018/6/20	
	8.5 TURKEY GOVT 220914	8.5	2,500	2,400	109,045	2022/9/14	
	8.8 TURKEY GOVT 230927	8.8	2,500	2,435	110,642	2023/9/27	
	9 TURKEY GOVT 160127	9.0	2,100	2,084	94,681	2016/1/27	
	9 TURKEY GOVT 170308	9.0	300	296	13,474	2017/3/8	
	9.5 TURKEY GOVT 220112	9.5	2,300	2,319	105,395	2022/1/12	
小	計				602,261		
合	計				1,204,516		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2015年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,204,516	93.4%
コール・ローン等、その他	85,680	6.6
投資信託財産総額	1,290,196	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,241,122千円) の投資信託財産総額 (1,290,196千円) に対する比率は96.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 メキシコペソ=8.01円	1 トルコリラ=45.43円
----------------	----------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 1,308,360,462
コール・ローン等	46,613,537
公社債(評価額)	1,204,516,704
未収入金	18,164,000
未収利息	31,665,037
前払費用	7,401,184
(B) 負債	32,460,970
未払金	32,460,970
(C) 純資産総額(A-B)	1,275,899,492
元本	853,256,953
次期繰越損益金	422,642,539
(D) 受益権総口数	853,256,953口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,953円

<注記事項>

①期首元本額	1,393,804,488円
期中追加設定元本額	487,582,972円
期中一部解約元本額	1,028,130,507円

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)	
ネクスト・グロス・ボンド・オープン(毎月決算型)	853,256,953円

[お知らせ]

- ①書面決議を行う場合の受益者数要件の撤廃を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。(2014年12月1日)
- ②併合手続要件の緩和を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。(2014年12月1日)
- ③買取請求の一部適用除外を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。(2014年12月1日)
- ④新たに発行可能となる新投資口予約権を投資の対象とする有価証券に追加し信託約款に所要の変更を行いました。(2014年12月1日)
- ⑤デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。(2014年12月1日)

○損益の状況 (2014年6月14日～2015年6月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 121,879,021
受取利息	121,879,021
(B) 有価証券売買損益	△ 26,242,543
売買益	64,765,869
売買損	△ 91,008,412
(C) 保管費用等	△ 2,309,373
(D) 当期損益金(A+B+C)	93,327,105
(E) 前期繰越損益金	634,688,863
(F) 追加信託差損益金	249,684,346
(G) 解約差損益金	△555,057,775
(H) 計(D+E+F+G)	422,642,539
次期繰越損益金(H)	422,642,539

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。